



このテキストについて

▶このテキストは「HTML/CSS 入門講座① HTML 編」の続きになります。

上記テキストの内容を終了してから学習してください。

●このテキストは、おもに下記の方を対象にしています

- Windows パソコンを使い、基本的なキーボード操作・マウス操作のできる方
- 自分でホームページを作成してみたい方
- ブログや WordPress サイトなど、自分のサイトをカスタマイズしたい方

※本書はパソコン教室での個別学習を想定して作成されたテキストです。

※インターネットにつながる環境が必要です。

●テキストの作成環境

- OS： Windows10
- ブラウザ： インターネットエクスプローラー11

※上記推奨環境以外でも学習していただけます。

●注意事項

本テキストに掲載されている画面写真は、テキスト作成当時のものです。

インターネットサービスのデザイン、機能等は変更される場合もありますのでご了承ください。

01 背景に対する CSS

●CSS を使うと、色々な要素の背景に色を付けたり、画像を設定したりすることができます。

●ここからは、実際に CSS を記述して確認します。

ここでは、CSS を HTML ファイルのヘッダー内に記述する方法を使用します。

1. **メモ帳**を起動します。

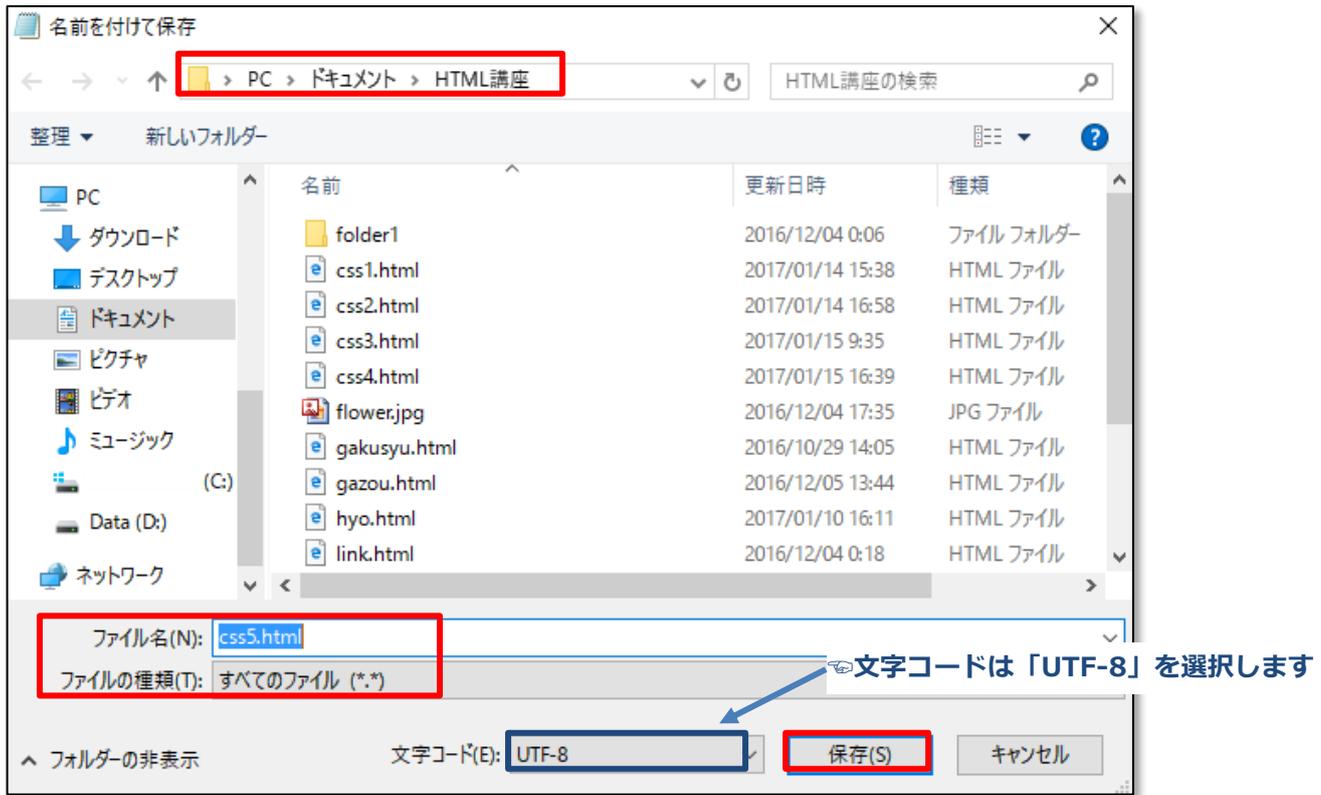
まずは **HTML 構造**を記述します。下記のように入力しましょう

```
無題 - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
<html>
<head>
<title>背景のCSS</title>
<style type="text/css">
body { font-family: "メイリオ",sans-serif; }
</style>
</head>
<body>
<h1>居酒屋つばさ亭</h1>
<h2>イベントのお知らせ</h2>
<p>大盛りチャレンジャー求む！</p>
なんと1kgある<span class="carry">ビッグサイズカレー</span>を<br />
30分以内に完食したお客さまには、<br />
2000円分のお食事券を差し上げます。<br />
ふるってご参加ください！</p>
</body>
</html>
```

👉この練習用 HTML 文書は、DOCTYPE 宣言や文字コードの指定を省略します。

2. ここまで出来たら、一旦文書を保存します。

「ドキュメント」→「HTML 講座」内に「css5.html」と名前を付けて保存します。



3. 一旦「css5.html」をブラウザで見てください。



◆背景色の設定 : background-color

色名	色名で指定します 【例】 red、 blue、 green
#RRGGBB (カラーコード)	カラーコードで指定します 【例】 #ff0000、 #996633
transparent	背景が透明になります (標準設定)

1. メモ帳の<style>タグ内に、**下記のように記述**しましょう。

```
<style type="text/css">
body {
font-family: "メイリオ", sans-serif;
background-color: lavender; }
h2 { background-color: #ffc0cb; }
.carry { background-color: gold; }
</style>
```



2. メモ帳を**上書き保存**し、「css5.html」を**ブラウザを更新**して見てみましょう。

居酒屋つばさ亭

イベントのお知らせ

大盛りチャレンジャー求む！

なんと1kgある**ビッグサイズカレー**を
30分以内に完食したお客さまには、
2000円分のお食事券を差し上げます。
ふるってご参加ください！

☞ <body>要素に対して背景色を設定したので、全体が薄い青になりました。

<h2>はブロック要素なので、行全体の背景が薄いピンクになります。

【carry】クラスを設定した要素はインライン要素なので、タグで囲まれた部分のみ背景色が変わります。



◆背景画像の設定 : background-image

url (“画像ファイルへのパス”)	背景が指定した画像になります
--------------------	----------------

▶背景色と背景画像の優先度

背景色と背景画像を同時に設定すると、背景色の上に背景画像が重なるように表示されます。

背景画像の一部を透過にしておくと、その部分は背景色に設定した色が表示されます。

※透過が利用できるのは「GIF」や「PNG」の画像形式です。

▼ここからは、「carry.png」というイラストデータを使って学習します。

データをインストラクターから受け取り、「HTML 講座」フォルダ内に保存しておいてください。

1. メモ帳の<style>タグ内に、下記のように記述しましょう。

```
<style type="text/css">
body {
font-family: "メイリオ",sans-serif;
background-color:lavender;
background-image:url("carry.png"); }
h2 { background-color:#ffc0cb; }
.carry { background-color:gold; }
</style>
```



👉 <body>要素の背景に、先ほど受け取った画像を適用するという記述です。

2. メモ帳を上書き保存し、「css5.html」をブラウザを更新して見てみましょう。



👉 背景色の上に設定した画像が配置されています。

標準設定では縦方向と横方向に繰り返してタイル状に並べられます。

このように背景に画像を使用すると、画像の上に文字を配置することが可能です。

◆背景画像の繰り返しの設定 : background-repeat

背景画像の繰り返しは変更できます。

repeat	画像を領域全体に繰り返して敷き詰めます (標準設定)
repeat-x	画像を水平方向 (横方向) に繰り返して敷き詰めます
repeat-y	画像を垂直方向 (縦方向) に繰り返して敷き詰めます
no-repeat	画像を繰り返さず、一つだけ配置します

1. メモ帳の<style>タグ内に、下記のように記述しましょう。

```
<style type="text/css">
body {
font-family: "メイリオ", sans-serif;
background-color: lavender;
background-image: url("carry.png");
background-repeat: repeat-x;
}
h2 { background-color: #ffc0cb; }
.carry { background-color: gold; }
</style>
```

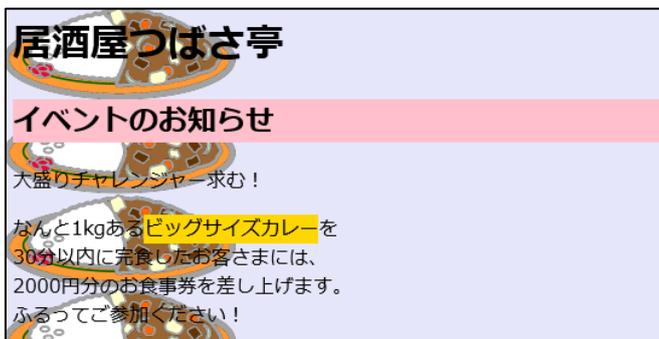


2. メモ帳を上書き保存し、「css5.html」をブラウザを更新して見てみましょう。

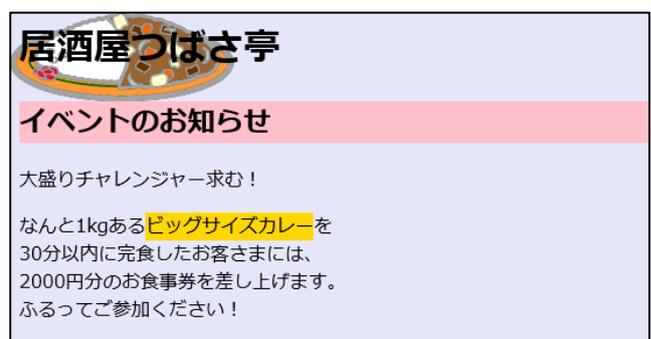


☞ 背景画像が横方向のみ繰り返し表示されました。

◎メモ帳を書き換えて、「repeat-y」と「no-repeat」も表示を確認してみましょう。



☞ 「repeat-y」: 縦方向のみ繰り返し



☞ 「no-repeat」: 左上に1回のみ表示される

◆背景画像の表示位置 : background-position

背景画像の表示位置は変更できます。

top / bottom □ left / right □は半角スペース	上揃え、もしくは下揃えのどちらかを選択します 左揃え、もしくは右揃えのどちらかを選択します
水平方向の値 □ 垂直方向の値 □は半角スペース	配置する位置を、X,Y の座標数値で指定します

1. メモ帳の<style>タグ内に、下記のように記述しましょう。

```
<style type="text/css">
body {
font-family: "メイリオ", sans-serif;
background-color: lavender;
background-image: url("carry.png");
background-repeat: no-repeat;
background-position: bottom left; }
h2 { background-color: #ffc0cb; }
.carry { background-color: gold; }
</style>
```



☞【background-repeat】は【no-repeat】にします。

2. メモ帳を上書き保存し、「css5.html」をブラウザを更新して見てみましょう。



☞ここでは便宜上ブラウザの高さを狭めていますが、ブラウザの幅や高さを変更しても常に左下に表示されることを確認しましょう。

▶▶確認したら、ファイルを閉じましょう。

▶ブラウザによる表示の違い

インターネットエクスプローラーでは、【background-position:bottom left】の命令で背景画像が左下に表示されますが、

FireFox や Opera など別のブラウザでは、本文の最終行と同じ位置に表示されてしまいます。

CSS ではこのように、ブラウザによって微妙に効果が違う場合があります。

こういったブラウザ間の効果の違いを考慮して、

どのブラウザでも見やすく表示されるようにすることを「**クロスブラウザ (対応)**」と言います。

ちなみに、上記の場合、【background-attachment:fixed】という命令を追加することによって FireFox や Opera でもインターネットエクスプローラーと同じように表示されます。



◆背景画像のスクロール方法 : background-attachment

スクロールした時の背景画像の表示方法を設定できます。

※このプロパティは単独で使えません。background-image、background-position と併用します。

scroll	画面をスクロールすると、背景画像もスクロールします (標準設定)
fixed	画面をスクロールしても、背景画像は指定した位置に固定して表示されます
local	背景画像はコンテンツに対して固定表示されます ※一部ブラウザは非対応

◆背景に対する一括設定

背景の色・背景画像・画像の繰り返し・画像の位置 を一括設定できます。

```
セクタ名 { background : 背景色の値 □ 背景画像の値 □ 背景の繰り返しの値 □
                背景画像の位置の値 □ 背景画像のスクロール方法の値 ; }
```

※□は半角スペース

※文字に対する一括設定と違って、プロパティを並べる順番は変更してもかまいません。

【例】 body { background:pink url("image.gif") no-repeat top right fixed ; }